

●演習ワークシート

実習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：75 歳，男性

主訴：食思不振，軽度意識障害

現病歴：独居で，数日前に感冒症状と発熱があり，食事がとれずにいた。朝，ぐったりとしていところを訪問看護師が発見し，救急搬送された

既往歴：高血圧，脳梗塞 ※腎機能障害の指摘はなし

血圧	心拍数	体温	意識レベル
78/50mmHg	105 回/分	36.8℃	JCS 1

口腔内乾燥，前胸部ツルゴール低下あり

体重 47.0kg（平常時 50kg）

検査所見

血清 Na	K	Cl	BUN	Cr	Hb
134mEq/L	4.8mEq/L	88mEq/L	85mg/dL	3.4mg/dL	16.3 g/dL

Ht	尿比重	尿蛋白	尿潜血
50%（1 か月前の Ht45%）	1.030	±	－

演習課題 1

この患者に対する糖質及び電解質輸液は特定行為の対象となるか，手順書に従って考えてください。

① この患者は対象患者でしょうか。

☐ 対象患者である ☐ 対象患者ではない

②（現時点で）病状の範囲内でしょうか。

☐ 範囲内である ☐ 範囲外である

●演習ワークシート

演習課題 2

下記の入院後経過①において、輸液 Aとして適切なものは①②のうちどちらでしょうか。

【入院後経過①】特定行為の対象患者ではなかったため、主治医は循環動態を安定化させるために、輸液 A を点滴静注した。

- ①初期輸液として生理食塩水を点滴する
- ②維持輸液として 5%ブドウ糖液を点滴する

演習課題 3

下記の入院後経過②において、次に行う輸液 Bとして適切なものは①②のうちどちらでしょうか。

【入院後経過②】生理食塩水 500mL を 2 時間かけて行い、血圧は 120mmHg まで上昇し意識レベルも改善した。電解質の急激な変化もなく、特定行為の範囲内となったため輸液 B に切り替え、速度調整をしていく方針とした。

- ①細胞外液（生理食塩水）を継続する
- ②細胞外液（生理食塩水）に 5%ブドウ糖液を加える

演習課題 4

下記の入院後経過③において、推定体液欠乏量を来院時の体重変化を参考に、リットル単位で求めてください（計算式等値の求め方を記載してください）。

【入院後経過③】補充輸液を生理食塩水、維持輸液を 5 %ブドウ糖液として、推定体液欠乏量の $\frac{1}{2}$ を 24 時間以内に補正する方針で特定行為を実施することとなった。
なお、この時点での尿量は 2 時間で計 60mL であった。

●演習ワークシート

演習課題 5

入院後経過③において，追加すべき残りの補充輸液量はおおむね何 mL でしょうか（計算式等値の求め方を記載してください）．

演習課題 6

入院後経過③において，維持輸液量はおおむね何 mL でしょうか（維持輸液量＝推定尿量＋700mL の式で求めてください）．

演習課題 7

下記の入院後経過④において，特定行為を行う際，この患者において特に注意すべき点について手順書の確認すべき事項を参考に考えてください（重要なポイント→腎機能障害，高齢者）．

【入院後経過④】初期輸液＋補充輸液計 2500mL を約 100mL/h で投与開始した．